

# 「ため池」を知る

## ため池とは？

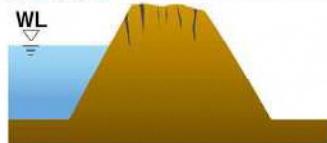
ため池は、農業用水を確保するために水を貯え取水ができるよう、人工的に造成された池のことです。農業用水としてだけではなく、防火用水など地域用水としても活用されています。

## ！こんな時は要注意!!「大雨のとき」「大地震のとき」

近年、局地的な大雨や大規模な地震の発生などにより、ため池の被害が各地で発生していますので注意しましょう。他にも融雪や老朽化による被害も報告されています。

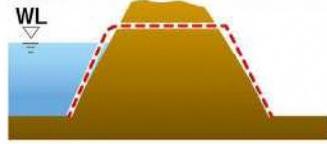
### 豪雨によるため池の被害メカニズム

#### ■クラック



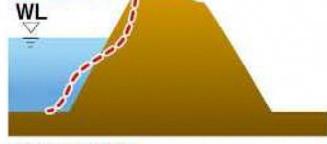
堤体の頂部などにクラック(亀裂)が発生する場合がある。堤体の上下流方向に生じるクラック(亀裂)は水みちとなることがある、特に注意が必要である。

#### ■沈下



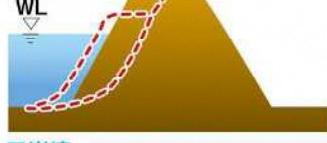
堤体の形状をほぼ保ち、クラック(亀裂)などを伴いながら堤体が沈下する場合がある。多くは軟らかい地盤で発生している。

#### ■斜面崩壊



堤体法面の上部が沈下し、下部がはらんで変形が生じる場合がある。

#### ■斜面すべり



地震等により堤体の法面にすべりが発生する場合がある。

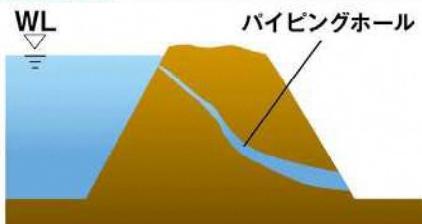
#### ■崩壊



堤体や地盤が大きく変化し、崩壊する場合がある。決壊に至ることが多く、堤体や基礎地盤の液状化によるものと考えられる。

### 地震によるため池の被害メカニズム

#### ■浸透破壊



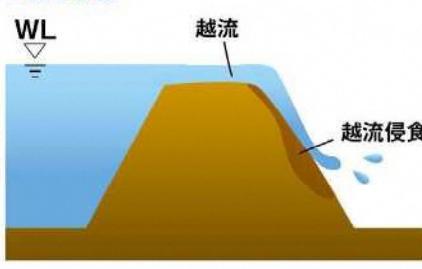
堤体内部が劣化して、水を遮る機能が低下し、貯水位が上昇して強度が低下し、破壊する場合がある。また堤体内に上流から下流に向かう水みちが発生し、破壊する場合がある。

#### ■すべり破壊



貯留した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内部の水分量が増加し、堤体の方面部の強度が低下することによって、方面部ですべりが発生し破壊する場合がある。

#### ■越流破壊



豪雨により、貯水位が急激に上昇し、堤体を越えて流れ出し、下流斜面を流下することによって、破壊する場合がある。

地図には武井ため池・菅ノ沢ため池・大清水ため池・沼ノ沢ため池・鴻ノ巣ダムのハザード情報をP.29・30に掲載しています。決壊した場合の浸水想定エリアと到達予想時間ることができます。

## 住民行動

ため池の異常に気がついたら  
すぐに連絡・通報！

- ▶ 日頃から家族や地域の方と話し合い、災害時の危険な場所や避難場所を把握し、避難方法を確認しておきましょう。
- ▶ 危険を感じたら早めの避難を心掛けましょう。

### 防災準備

- 避難場所、安全な道路の確認
- 非常時持ち出し品を常備する。

### 情報収集

- テレビやラジオで気象情報の確認（緊急地震速報・台風情報）
- 避難情報に注意

### 避難

- 持ち出し品は最小限にする。
- 防災マップを携帯する。

警察 …… 110  
消防 …… 119  
新地町(農林水産課) …… 62-2194

# ため池ハザードマップ

大清水ため池・菅ノ沢ため池・沼ノ沢ため池  
武井ため池・鴻ノ巣ダムについての情報

## ハザードマップの掲載情報

### ① 場所ごとの浸水する深さ

場所ごとの浸水する深さを色分けして地図上に表示しました。

### ② 到達時間

ため池の水が到達するまでの時間を表示しました。



## 地図を見るポイント

- 地図の凡例を参考に、どこにどのような浸水が想定されているか確認しましょう。(浸水想定区域では、水だけでなく、土砂や流木等様々なものが押し流されてくる可能性があります)
- 災害の状況によっては、避難所へ向かうことが危険な場合があるので注意しましょう。
- 日頃から自分の家から避難所まで歩き、実際の距離感や、災害時に危険そうな箇所(地震時に崩れそうなブロック塀、大雨時に溺れそうな深みのあるところ)や、逃げ込める高台などをあらかじめ確認しておきましょう。

